

サポート隊だより10号 12/15

校内マラソン大会サポート(発行 観音寺小学校サポート隊)



12月2日(水)、校内マラソン大会の交通整理を11名のサポート隊員がお手伝いしました。昨年は雨まじりの寒い日でしたが、今年は穏やで暖かい天候に恵まれた大会となりました。

開会式も運動場で行われ、校長先生からの励ましの言葉、6年生代表の力強い宣誓の後、1年女子からスタートしました。

半袖の体操服で、顔を真っ赤にしながら頑張る姿に感動しました。1年男子、2年女子と次々に力走が繰り広げられました。上級生の走るスピードは大人などついていけない速さです。どの学年もこの日のために一生懸命練習を積み重ねた様子が、子どもたちの真剣な取り組みから分かりました。

校内や学校周辺を走りぬける子どもたちをたくさん家族が応援に来ていました。

サポート隊員高橋さん(茂木)からの感想です。

【バーンと1年生女子のスタートの合図の音が聞こえる。私は、校門を出た最初の歩道の所で安全指導。遠くに運動場を競って走る子どもたちの姿が見える。体育館の蔭に一瞬隠れて直ぐに現われ、その一団が、幾つかの塊になって、こちらに向かって来る。弾む息吹が徐々に大きく聞こえてくる。みんな

苦しそう。少しスピードを緩めて目の前を左折。「頑張っ」と声を掛け応援する。心の中で、「精一杯走っているよね。これ以上頑張れないよね。立派だよ。」と誉める。暫く走って、また左折、すぐに視界から消える。バーンと、またスタートの合図。今度は1年男子。入学当初のランドセルを重そうに背負った面影はもうない。こうして次々とドラマが続いた。最後は6年生男子。迫力がある。力強い走りだ。マラソンはよく人生の縮図とも言われる。完走の喜びと達成感子どもたちには良い思い出が残ったに違いない。私も元気を分けて貰った。感謝。】

走り終えた子どもたちの顔には、どの子も自分の力を出しきった満足感がうかがえ、応援した我々までが清々しい気持ちになりました。子どもたちの頑張る姿を見ることができ、本当にサポート隊員で良かったと思いながら学校を後にしました。

「防犯アカデミー2015」11月28日(土) 高松テルサ

主催：香川県安全・安心まちづくり推進協議会

観音寺小学校サポート隊が発表してきました。